

19. 「LPガス配送ならびに保安情報システムの標準化に関する調査」調査結果概要図

(実施者: 日本ソフアック株式会社)

【調査目的・内容】

配送コストの削減に向けて、LPガス流通の実態について調査を行い、流通システムの合理化や統合化を検討することで、LPガス販売事業者の構造改善に資することを目的とする。

LPガス販売事業者における事務の流れに関する調査

[標準的なLPガス小売販売事業者における事務の流れを確認した。]

配送センターの実態調査

[配送センター及び共同充填所における業務の実態を確認した。]

現行配送システムの分析と新統合配送システムの検討

[異種システムにより運営されている配送センター2社について、そのシステム内容を分析するとともに、システム統合の方向性について検討した。]

【調査結果】

LPガス販売事業者における事務の流れに関する調査

標準的なLPガス小売事業者においては、LPG統合管理システムを軸に各種業務の実施・管理を行っている。(詳細、次ページ下段の図参照)

配送センターの実態調査

本調査対象の配送センターにおける課題としては、配送センターの統合や交錯配送の解消等による容器の一元化や配送コストの削減が挙げられている。

本調査対象の共同充填所では、複数の異なるバーコードが貼られた容器が返却されているが、読み取り時に障害となる片方のバーコード上にマグネットシートを貼付することで、自社の充填機ソフトの変更を不要としている。

現行配送システムの分析と新統合配送システムの検討

LPガスの配送に関しても、充填所の共同化と同様の「共同配送センター」を設立し、流通コストを削減する必要がある。この状況を踏まえ、異種システムにより運営されている配送センター2社について、そのシステム内容を分析するとともに、システム統合の方向性について検討した。

異なる2社のシステムを統合する場合、「運用方法を統一化できない」、「管理方法を統一化できない」といった問題点がある。また、配送センターの統合による「配送担当地区」、「容器共通化」等の見通しが立てにくく、配送効率の改善が困難である。

本調査で検討した統合システム案においては、以下の改善が期待される。

配送業務や電算運用等のシステムの運用方法を統一化できる。

システムの管理方法を統一化できる。

緊急連絡受付、配送管理者、管理事務等の業務の集約化が可能となる。

システム開発の二重投資が防止できる。

保安情報の一元化が可能となる。

【課題・対策】

情報管理システムが異なる販売事業者間において、共同配送の円滑化が可能となる新たなシステムの構築を図り、その結果、複数事業者での共同化の見通しが得られた。

よって、今後は容器の共同化システム、共同充填システム、バルク供給システム、さらに集中監視システム等との連動を図ることによって、LPガス業界のさらなる流通合理化に貢献する可能性が見つかった。